

＜杵築市＞令和6年度 学校評価の4点セット（自己評価・学校関係者評価）

学校名 杵築市立大田小学校

3学期

実態 調査 結果	学力状況	学習・指導の状況	いじめ・不登校の状況	体力の状況	
	各種調査結果	■「大田小學習のきまり」に則り落ち着いた學習ができている。 ■相手の方を向いて聞くことが定着している。 ■発表意欲がある。他者の発言を聞いての感想や意見を発表する力がついてきている。 △児童と教師が①同じ見通しをもつ②問い合わせをもって学ぶ③他者の問い合わせに反応する④学びを生かすといった学び方を身につける。 △自律・自立した學習者の取組の推進。	■小規模校であることから、全校遊び集会等の全校で行う活動を多く取り入れており、学年関係なく全児童が日々仲よく過ごしている。 ■人間関係づくりプログラムやソーシャルスキルトレーニングを定期的に行い、子ども同士のよりよい人間関係づくりを目指している。	運動愛好度	R6全国値以上種目数
男子	平均100%	28/40			
女子	平均100%	24/40			
■1校1実践（1学期一輪車、2学期マラソン、3学期縄跳びを全校で取り組んでいる。）■少人数なので平均値比較だけでなく個は応じた指導をしていく。■R6のデータからは、握力が男女とも上回っている。長座体前屈や50m走の強化が必要である。					

標学校の教育目標	能力を目標とする資質・達成指標	知識・技能	思考・判断表現	学び人間性	資質能力	担当	重点的取組	取組指標 誰が・何を・頻度	取組評価	達成状況の確認		考察・改善							
										根拠	評価								
ふるさとを愛し、進んで人やことと関わり、よりよく解決しようとする力	基礎的・基本的な知識・技能の習得	「読む・書く・話す・身につけける」他者と関わり、他者と一緒に学ぶ	他の課題を解決する「力」をもって持ち、進んで人やことと関わり、よりよく解決しようとする力	基礎的・基本的な知識・技能の習得	「読む・書く・話す・身につけける」他者と一緒に学ぶ	研究主任 (知)	重点的取組 課題解決の場の充実	授業改善テーマ 「知りたい！」「やってみたい！」「やろう！」を喚起する場の充実	話し合いを通した課題解決の場の工夫	授業者は、各教科・領域における全体での話し合いにおいて、週1回は、子どもだけで課題に対する答えを見つける場を設定する	S	①単元末テスト結果（思判表）【国・算・理の平均達成率82.2% : A】 ②児童アンケート肯定的評価：90%【達成率105% : S】 ③算数・理科が上回る【達成率66.6% : B】 ④児童アンケート肯定的評価：100%【達成率118% : S】	①児童一人一人が目標値を見直し、目標値を前回より上げたことにより、達成できなかった児童がいる。2学期の目標値であれば、達成できいた児童が複数いる。 ③調査結果の分析を踏まえた改善策を中心に、補充学習に取り組む。						
							重点的取組 学力その他の向上	○集会の最後には、必ず感想発表の時間を設定する ○朝の時間におけるトレーニングタイムの実施（木曜日：国語、金曜日：算数） ○全校図書貸し出しデータの実施（毎週金曜日）	毎時間、ねらいに即した学びの必要感や必然性を持たせて、めあてや課題を設定する ※児童が主体となって取り組む活動を仕組んだり、授業の中で児童から出された発言や疑問などを元に課題を設定したりする。										
	大田つ子の育成	基礎的な体力を身につける	適切な言葉を使い、よりよく表現する	基礎的な体力の育成	よりよい言葉遣いを	思考判断表現	重点的取組 人間関係づくりプログラム・SSTを通じたよりよい人間関係の構築	生活指導主任 (徳)	毎月1～2回（火曜日）、人間関係づくりプログラム（アドジャン）を実施する 人間関係づくりプログラムの最後の場面で、「礼儀正しく・うなずきながら、ふざけない、ちゃかさない、否定しない」で対話できたか必ず確認する	S	①児童アンケート100%【達成率118% : S】 ②児童アンケート100%【達成率118% : S】	①②取組継続							
							重点的取組 その他の組合	○毎週月曜日（朝の時間）、担任と児童との面談の時間を設定する OSC・SSW・地域児童生徒支援CDNと定期的に情報交換を実施	毎月1～2回（火曜日）、ソーシャルスキルトレーニングを実施する。										
杵築市の今日的課題：重点目標	ICTの効果的活用（頻度）	基礎的な体力を身につける	自分の身体を見つめ、自分の体づくりを工夫する	基礎的な体力の育成	体力と健康づくり組合	体育主任 (体)	重点的取組 外遊びの推進	週に1回、体育委員会主催の全校遊びタイムを実施する	A	①児童アンケート：100%（達成率：111% : S） ②長座体前屈が県平均より上回った児童42.1%（達成率：52.6% : B）	②達成率は52.6%だが、2学期（38.9%）より上昇している。柔軟体操を変更した成果が見られつつある。今後も継続する	A							
							重点的取組 健康課題解決の推進	自己の健康課題とその解決法を子ども個々で設定させ、担任が取り組みカードを毎週月曜日に確認する											
							1校取1組実践の	体力向上の推進	毎週火曜日、15分間のフィジカルトレーニングを実施する（1学期：一輪車、2学期：持久走、3学期：縄跳び） ※雨天時：体育館でサーキット										
地域（学校運営協議会）		担当	重点的取組					評価	考察・改善										
			わが子の生活・健康課題について、毎日取り組みカードへの記入を親子で行い、取組を振り返る					A	1ヶ月に一度“けんこうカード”的取り組みを実施										
		安心安全支援チーム	地域の方が見守り活動をする。（毎月第3金曜日の全校登校指導等）					A	計画通り実施。										
			「大田の子ふるさと学習（地域人材活用授業）」の計画を踏まえ、積極的に支援・協力する					A	ふるさとづくり協議会代表と学校で、来年度の「米づくり」「いもづくり」について目的と支援内容について共にした。										